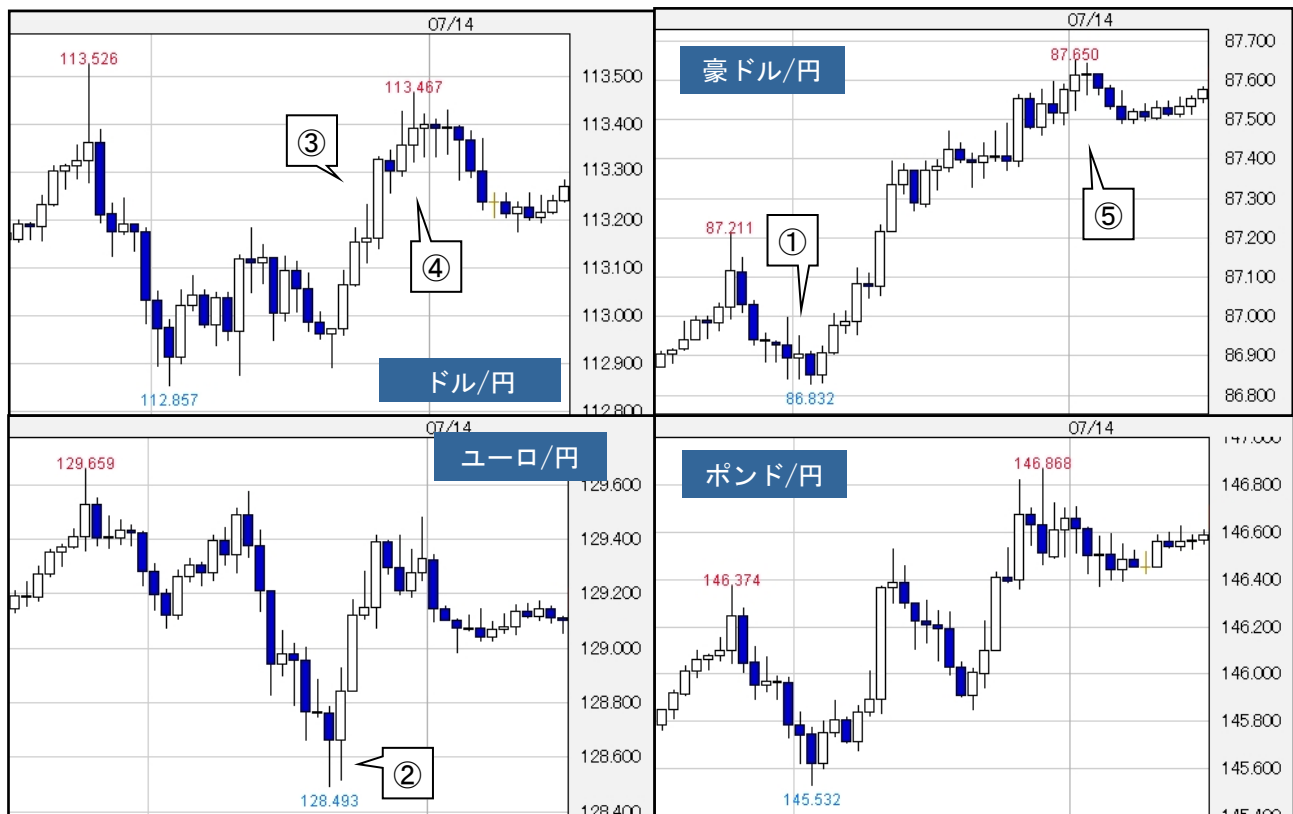


7月14日(金曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

米インフレ鈍化は？CPIに注目

13日(木)の為替相場



期間：13日(木)午前6時10分～14日(金)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 中国6月貿易収支は428.0億ドルの黒字(予想:+426億ドルの黒字)であった。また、内訳は輸出が前年比+11.3%、輸入は同+17.2%(同:+8.9%、+14.5%)であった。
- ② 「欧州中銀(ECB)は9月7日の会合で量的緩和(QE)を段階的に縮小する計画を公表する可能性がある」「ドラギECB総裁がジャクソンホールで演説を行う模様」との一部報道を受けてECBの量的緩和縮小観測が高まると、独金利上昇と共にユーロが反発した。
- ③ 「日銀が2%の物価目標達成時期について先送りを含め議論する」との一部報道を受けて円売りが優勢となった。米6月生産者物価指数が前月比+0.1%、前年比+2.0%といずれも予想(±0.0%、1.9%)を上回った事を受けたドル買いも合わさり、ドル/円は値を上げた。なお、米新規失業保険申請件数は24.7万件(予想:24.5万件)であった。
- ④ 米連邦準備制度理事会(FRB)のイエレン議長が上院の議会証言で「米経済は利上げと資産縮小開始を始められるほど健全」「低調な物価のために利上げ余地が限られるかもしれない」などと発言。ただ、前日下院で行った証言内容とあまり変わらなかったため反応は限られた。
- ⑤ 国際エネルギー機関(IEA)が発表した石油市場月報で、2017年と18年の世界の石油需要が拡大するとの見通しが示された事などから、需給引き締め観測を背景にNY原油先物が一時46.20ドル台まで上昇。豪ドル/円は2月以来の高値となる87.650円まで上値を伸ばした。

13日(木)の株・債券・商品市場

外為注文情報(ドル/円)

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
20099.81 (△1.43)	5736.768 (△62.937)	3218.163 (△20.619)	7413.44 (▼3.49)	12641.33 (△14.75)
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
21553.09 (△20.95)	0.0840% (▼0.0050)	2.687% (▼0.033%)	1.302% (△0.041)	0.603% (△0.024)
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.3633% (△0.0204)	2.3444% (△0.0267)	46.08 (△0.59)	1217.30 (▼1.80)	

Sell	Rate	Buy
113.90		
113.85		
113.80		
113.75		
113.70		
113.65		
113.60		
113.55		
113.50		
113.45		
113.40		
113.35		
113.30		
113.25		
113.20		
113.15		
113.10		
113.05		
113.00		
112.95		
112.90		

本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	112.600-114.000	128.700-130.300	87.100-88.500	146.000-147.900

【ドル/円】

昨日のドル/円は113円割れで下げ渋る展開。一時112.80円台まで下落する場面もあったが、米長期金利の持ち直しに支えられて小幅高で終えた。イエレン米連邦準備制度理事会(FRB)議長の議会証言を受けた金融市場の騒乱は一服した格好だが、本日は米6月消費者物価指数(CPI)の発表が予定されており、その結果次第では再び市場が大きく揺れる可能性がある。イエレン議長は証言の中で、足元のインフレ鈍化は一時的としながらも、低インフレが続けば利上げ余地は限られるとの認識を示した。CPIが市場予想(前月比+0.1%、前年比+1.7%、コア前年比+1.7%)を下回れば追加利上げへの期待が一段と萎む可能性もある。そのほか、本日は同時刻に米6月小売売上高も発表される。こちらも米個人消費にかかわる重要統計であり注目度は高い。統計後の米債市場や米株式市場の反応にも留意したい。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
7/14(金)	20:00		(米) JPモルガン・チェース決算	—	—
	21:00		(米) シティグループ決算	—	—
	21:30	◎	(米) 6月消費者物価指数(前月比)	-0.1%	+0.1%
	21:30	◎	(米) 6月消費者物価指数(前年比)	+1.9%	+1.7%
	21:30	◎	(米) 6月消費者物価指数(コア:前年比)	+1.7%	+1.7%
	21:30	◎	(米) 6月小売売上高(前月比)	-0.3%	+0.1%
	21:30	◎	(米) 6月小売売上高(前月比:除自動車)	-0.3%	+0.2%
	22:15	○	(米) 6月鉱工業生産(前月比)	±0.0%	+0.3%
	22:15		(米) 6月設備稼働率	76.6%	76.8%
	22:30		(米) カプラン・ダラス連銀総裁、講演	—	—
	23:00	○	(米) 7月ミシガン大消費者信頼感指数・速報	95.1	95.0

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承いたします。